



2025年度入試 受験生へのアドバイス

これは 2025年度入学試験に向けて、
傾向と対策をまとめたものです。
受験勉強の参考にしてください。

関西大学第一高等学校

国語

国語の問題は現代文一題、古文一題、漢字の問題一題の三つの問題からできています。文章は特別な知識がなくても読み解けるものを選んでいきますので、教科書で読み習ったことをいかして、じっくりと考えてください。

選択問題も記述問題も出題されます。解答を選ぶに当たっては、解答の根拠を確かめ、なんとなくではなく本文にそった判断をしてください。記述式の問題では、読み解く力だけではなく表現力も試されます。求められていることを理解し、それに応える解答づくりを心掛けましょう。文末が問い方に合った表現になっているか、必要な内容がすべてそろっているか、誤字はないか、おかしい表現が含まれていないか、句読点のつけ忘れがないか、最後まで落ち着いて確認してください。文字数の指定があるときには、求められている字数の八割程度を超えるようにしましょう。字が少なすぎると必要なことが書けていない可能性があるからです。

日頃から文章に親しむ習慣があると、少し安心して取り組むことができます。しかし、たくさんの作品を流し読みするのはその効果は低くなります。少ない作品でもじっくり読むと考える力が身につけていきますので、よく読んで深く考えることを習慣づけてください。

また、本校では基礎学力の一つとして漢字学習を重視しています。そのため漢字の問題を独立して出題しています。中学3年生までに習う漢字(漢字検定3級程度)をすべて対象としていますので、略字やくせ字、続け字、小さすぎる字など、文字として成り立たないような字を書かず、大きな字で丁寧にはっきりと書いてください。

社会

試験時間は50分です。地理・歴史・公民の3分野から出題します。

地理的分野では、日本・世界とも出題します。日本のことについては、日本の諸地域の地名や自然・産業などについて、世界のことについては、国名や国の位置・地名・地形・気候・人口・環境や、地域の特徴などについて出題します。また、地形図や雨温図の読み取りの勉強をしておくことも必要です。

歴史的分野では、日本の歴史はもちろん世界の歴史についても勉強しておく必要があります。単に人名や語句だけを覚えるのではなく、歴史的な事柄が起こった時期・場所・資料集の写真などとあわせての学習が必要です。

公民的分野では、政治分野・経済分野ともに出題します。国内の政治に関心を持って学習しておいてください。また、日頃から新聞やニュースをよく見て、社会の動きをよく理解しておきましょう。

3分野とも、基礎的な知識の理解を問いますが、単に語句を暗記するだけではなく、「なぜそうなるのか」を考える力を養っておく必要があります。基本的な用語は漢字で解答できるようにしておいてください。

数 学

なるべく多くの分野から万遍なく出題することを考えています。中学での3年間で習った内容を偏りなく勉強し、苦手な分野をなくしておいてください。難易度については、標準的な問題を出題するようにしています。解き方を丸暗記するのではなく、解く道筋を理解する癖をつけておきましょう。問題量はやや多めです。時間配分には気を付けましょう。

計算問題については、分数や文字式を含んだ四則計算が正確に出来るように練習し、丁寧に数式を書いて計算することを心掛けましょう。

文章問題については、問題文をしっかりと読みとってください。そのために、日頃からいろいろな文章問題に触れて、読解する練習をしておきましょう。

図形問題については、その図形がもっている性質をよく理解することが大切です。図の見た目から何となく判断せず、根拠をもって考えるようにしましょう。

受験生の学力が入試の得点に比例する出題を心掛けています。学力レベルが上がるよう頑張ってください。

理 科

物理分野、化学分野、地学分野、生物分野に関して、毎年均等に出题されています。すべての分野を幅広く勉強しておきましょう。各分野とも、日常生活で起こる現象などに興味を持って接しておきましょう。

図や写真を見て覚えるべき事柄も多いので、図や写真などもよく見ておきましょう。いろいろな問題を多く解いて、慣れておくことが大切です。文章がしっかり読めて、説明を理解できる能力も必要です。

記号選択の問題では、問題や選択肢の内容をよく読んで、問題に適した答えが選べるように練習しておいてください。試験時間は50分間です。この時間内で十分解けますので、落ち着いてうっかりミスのないように解答しましょう。

解答時の諸注意です。設問に分数で答えてよいという指示がない限り、小数で答えてください。単位まで答えなければならない問題については、単位がないと減点、もしくは不正解となることがあります。設問に漢字で答えなさいと指示がない限り、ひらがなで書いても不正解にはなりません。誤字、脱字は減点もしくは不正解となることがあります。これらの注意点に気をつけて解答してください。

英語

出題範囲には、中学校3年間で学習する項目全てが入ります。中学校教科書の内容をよく理解し、基礎的な学力をしっかり定着させてください。教科書の音読はもちろん、既習の単語・連語、文法、構文など、反復練習を通して習得しておきましょう。

本校の入試問題では、主に「読み」・「書き」が試されます。

「読み」では、長め・短めの文章読解問題を数問出題します。文章の流れを追う力、論理的に考える力、問われていることに的確に答える力などが試されます。日頃から、様々なジャンルの英語・日本語の文章を読んでおきましょう。

「書き」では、中学で学習する文法・語彙を使いこなす表現力が試されます。自分の身の回りの物や出来事の説明、質疑応答、挨拶など、英語でいかに表現するかを常に考え、英作文の練習をしておきましょう。なお、現在のところ、リスニング問題や英会話、英語面接は実施されていません

英語の試験時間は60分です。問題量が多いので、過去の入試問題を解いて問題形式や難易度に慣れておくことをおすすめします。

以上